

第58回日本薬剤師会学術大会



研修単位申請部門
夏目 君幸

47年振りに京都に帰ってきました（その8）

第58回日本薬剤師会学術大会（10月12日（日）、13日（月・祝））於国立京都国際会館

研修単位申請部門 夏目 君幸

本コーナーでは学術大会が開催に至るまでのエピソードや思いを毎月ご紹介します。
今月はシリーズの最後を飾り、研修単位申請部門の夏目先生にお話を伺いました。
（インタビュアー：渡邊由佳子）

—研修単位申請部門の役割について教えてください—

学術大会参加による自己研鑽はもとより、生涯研修認定に必要な単位を得ることについては皆様も重要視されていると思います。薬局薬剤師と病院薬剤師の統一組織である京都府薬剤師会として、取得可能な研修認定をPECS、JSHPの双方に設定し、それぞれの認証団体に学術大会として認めていただくことから活動を開始しました。私たちの部門は、大会参加者に研修認定単位を付与することが目的です。また、今回の学術大会では初の試みとして、大会終了後にオンデマンド配信視聴によりPECS単位を取得可能と致しました。単位取得目的ではなくても、興味のある講演が重なり、聴講を逃した方のために、後日オンデマンドによる講演や分科会の視聴も可能としました。遠方のため参加を断念された方にも、京都大会の雰囲気を感じていただきたいとの思いもありました。

—研修単位申請部門で特に苦勞された部分はどこでしたか？

PECS、JSHPの認定を受けるための種々の申請については事務局の方々に大変お世話になりました。オンデマンドでの単位取得申請をするためには、京都府薬剤師会として新たに研修実施機関としての登録が必要だったのです。開催までの時間が限られている中、事務局には迅速に対応していただいた結果、オンデマンド配信による単位付与が可能となりました。

—当日の入退場時の受付準備で苦勞されたことはありますか？

参加登録者が8,000名を超えているので、当日の来場者もかなりの人数になると予想されますが、入退場時における単位申請のQRコード読み取りが大きな問題と捉えています。ご存知のように国際会館は入退場エントランスが限られており、多くの来館者の流れをしっかりとコントロールする必要があります。入館時・退館時それぞれについて、如何にして人の流れをスムーズにできるか検討を重ねました。この点については、最大限の知恵を搾りましたが、当日を迎えてみなければ結果が見えない不安もあります。

—参加予定の皆様へメッセージをお願いします。

ご来場いただいた皆様が一番初めに通っていただく部門ですので、First Impressionで、精一杯のおもてなしの心が伝わればと思います。いよいよ、本番が近づいてまいりました。京都大会実行委員会一同、ご参加の皆様を笑顔でお迎えしたいと思います。

10月12・13日に京都国際会館でお会いしましょう！！

—それでは、4月から7回に亘りました「第58回日本薬剤師会学術大会 47年ぶりに京都にかえってきました」は、今回が最後となります。

お忙しい中、取材に応じてくださいました皆様ありがとうございました。

京都府薬剤師会は一丸となり、学術大会の準備をさせていただいております。

さあ、ラストスパートです。

私たちの想いが実を結び、参加いただく皆様に京都のおもてなしの心が届きますように！！